

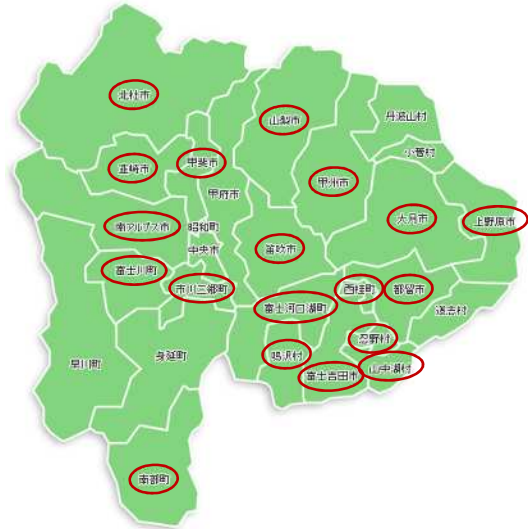
# 山梨県の事例

## 1 支援団体

(1) 申込団体 山梨県

(2) 参加団体

富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、市川三郷町、南部町、富士川町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、峡南広域行政組合、山梨県市町村総合事務組合、山梨県（合計 22 団体）



(3) 依頼種別

短期（1日間×全2回）/ 講演

## 2 背景、課題等

- ・昨年度、市町村向けの研修で自治体クラウドの概要や導入に向けた課題について説明したため、今回は「電子自治体の推進に関する勉強会」において、自治体クラウド導入に当たっての市町村間での具体的な協議事項や手順、検討の実施体制や運用方法について把握したい。

## 3 内容

(1) 支援内容

県内市町村から複数の観点から方向性を検討したい旨の要望があったため、1回目と2回目で別の支援アドバイザーから以下に係る講演を実施した。

ア 1回目

- (ア) 富山県における自治体クラウド導入状況
- (イ) 富山県における情報システム共同利用の推進体制
- (ウ) 共同化の枠組みづくり
- (エ) 仕様書作成
- (オ) 調達
- (カ) 導入・データ移行
- (キ) 運用

イ 2回目

- (ア) 費用削減の実現、サービス向上等の共同化の成果
- (イ) 費用削減のための検討事項（費用削減効果の検証・比較方法）
- (ウ) 人口規模や市と町村の違いによる課題、メリット、デメリット、費用按分方法
- (エ) 調達、構築、運用に係る課題とその解決方法

(2) 結果等

ア 1回目

実例に基づく自治体クラウドに係る具体的な課題や手順の理解

イ 2回目

前回と異なる事例を学んだことで、市町村の今後の自治体クラウド導入の方針をより多角的に検討することが可能

## 4 今後の予定

- ・既存自治体クラウド利用団体の拡大
- ・単独クラウド及びオープン系（オンプレまたはハウジング）利用団体の共同化を目指して、自治体クラウド導入を推進